

平成30年度

決算のあらまし

去る6月25日に開催された第187回組合会において、当組合の平成30年度の決算が承認されましたので、その概要をお知らせします。

総括事項

前年度に比べ、組合員は212人増加しましたが、任意継続組合員および被扶養者はともに減少となりました。

組合員数・被扶養者数

区分	平成29年度	平成30年度	比較増▲減
一般組合員	21,110人	21,250人	140人
市町村長組合員	40人	41人	1人
市町村長長期組合員	4人	3人	▲1人
特定消防組合員	4,008人	4,081人	73人
長期組合員	2人	1人	▲1人
計	25,164人	25,376人	212人
任意継続組合員	524人	483人	▲41人
被扶養者	24,054人	23,518人	▲536人

組合を構成する市町村等の数

区分	平成29年度	平成30年度	比較増▲減
市	32	32	0
町	10	10	0
村	2	2	0
一部事務組合等	39	39	0
計	83	83	0

平均標準報酬月額

長期	377,523円
短期	378,267円

業務経理

地方公共団体負担金、短期経理からの繰入金および全国市町村職員共済組合連合会(以下「市町村連合会」といいます。)からの交付金を財源に、人件費および事務費、その他共済組合の運営に要する諸費用を賄う経理です。

(単位:千円)

収入	505,522
支出	483,005
差引	22,517

平成30年度の組合員1人当たりの事務費は年額12,096円で、経費削減に取り組んだ結果、約2千万円の当期利益金が生じました。



短期経理

組合員やご家族の皆さんの病気やケガによる医療費の支払い、出産、死亡、その他災害が生じた場合などに行う給付、高齢者医療に係る各種拠出金の納付のほか、介護保険料の収納を行う経理です。

収支の結果、短期経理分は約4億円、介護保険分は約1千万円の当期利益金が生じました。

短期経理分

(単位：千円)

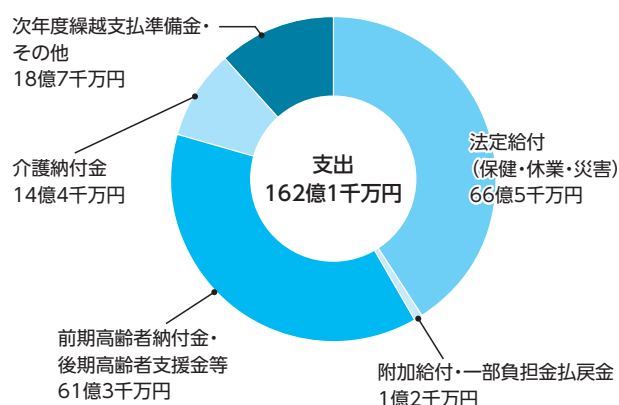
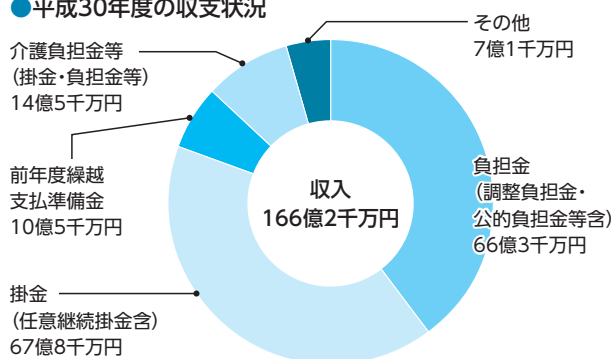
収入	15,164,941
支出	14,761,832
差引	403,109

介護保険分

(単位：千円)

収入	1,454,973
支出	1,442,900
差引	12,073

●平成30年度の収支状況



厚生年金保険経理

組合員の皆さんの保険料および地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	35,337,975
支出	35,337,975
差引	0

退職等年金経理

「退職等年金給付」の財源として、組合員の皆さんの掛金および地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	2,263,024
支出	2,263,024
差引	0

経過的長期経理

被用者年金一元化前に決定した公務等の障害・遺族年金に要する費用の財源として、地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	234,926
支出	234,926
差引	0

経過的長期預託金管理経理

市町村連合会が保有する経過的長期給付組合積立金の一部を、当組合が資金預託を受け管理・運用するための経理です。

主に貸付経理への資金の貸付のほか、地方公共団体より引き受ける縁故地方債等で運用しています。

(単位:千円)

収入	32,728
支出	32,728
差引	0

保健経理

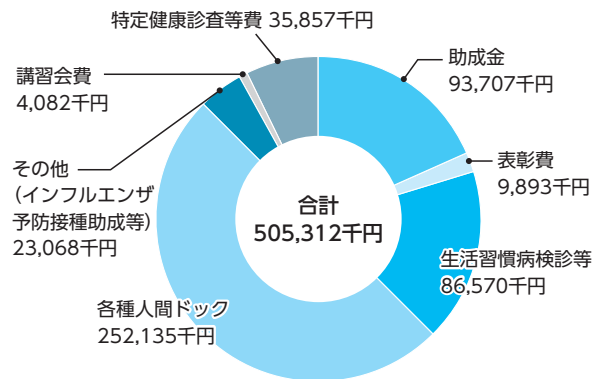
医療費増嵩対策の一環として、組合員とご家族の皆さんの健康保持増進を図るため、各種検診をはじめとする福利厚生事業を行う経理です。

収支の結果、約4千万円の当期損失金が生じました。

(単位:千円)

収入	686,110
支出	725,467
差引	△39,357

●各事業費用



宿泊経理

保養所「大洗鷗松亭」を運営するための経理です。

収支の結果、約4千万円の当期利益金が生じました。

今後もより一層サービスの向上に努めてまいりますので、皆様のご利用を心よりお待ちしております。

(単位:千円)

収入	564,396
支出	524,960
差引	39,436

貸付経理

組合員の皆さんの住宅資金など生活に関連した資金の貸付を行う経理です。

収支の結果、約7百万円の当期利益金が生じました。

平成30年度末の貸付金残高は前年度と比べ約10億円減少し約60億円となりました。

(単位:千円)

収入	78,624
支出	71,340
差引	7,284

物資経理

組合員の皆さんが自動車を購入するときに、資金の一時立替えを行う経理です。

収支の結果、約3百万円の当期利益金が生じました。

平成30年度末の物資立替金残高は、前年度と比べ約5千万円減少し約13億4千万円となりました。

(単位:千円)

収入	28,063
支出	24,981
差引	3,082

令和元年10月から利率を引き下げますので、自動車購入の際はぜひご活用ください。

財形経理

国が作成する「地方公務員等の財産形成事業に係る基本計画」に基づく市町村連合会からの借入金を財源として、勤労者財産形成貯蓄をしている組合員の皆さんに住宅資金を低利で貸し付けする経理です。

(単位:千円)

収入	194,226
支出	194,226
差引	0

貯金経理

共済貯金に加入されている組合員の皆さんからお預かりした資金を安全かつ効率的に運用し、市中金利よりも有利な利率で還元することにより、健全な財産形成を図ることを目的とした事業を行う経理です。

(単位:千円)

収入	2,110,467
支出	2,019,176
差引	91,291

収支の結果、約9千万円の当期利益金が生じました。

平成30年度末における貯金残高は、前年度から約30億円増加し約1,204億円となりました。

共済貯金の運用状況

平成30年度の決算をもとに、貯金経理の貸借対照表と資産構成割合を掲載します。お預かりした組合員貯金は、そのほとんどを国債など安全な有価証券で運用しています。しかしながら長引く低金利政策による厳しい運用環境が続いており、資産の平均運用利回りが低下傾向にあります。

今後も、皆さんからお預かりした大切な資金であることを第一に、安全性を最優先とした効率的な運用に努めてまいります。

平成30年度決算 貸借対照表

(単位:百万円)

借方	金額	構成割合	貸方	金額	構成割合
普通預金	4,231	3.04%	組合員貯金	120,416	86.50%
定期預金	15,400	11.06%	流動負債	369	0.26%
有価証券	118,120	84.85%	固定負債	43	0.03%
長期貸付金	1,174	0.84%	剰余金	18,388	13.21%
その他	291	0.21%	計	139,216	100.00%
計	139,216	100.00%			

※剰余金には、将来の欠損金の補てんに充てるための法定積立額を含んでいます。

有価証券の内容

(単位:百万円)

種類	金額	構成割合
国債	25,716	21.77%
地方債	9,155	7.75%
政府保証債	7,091	6.00%
公社公団債	60,166	50.94%
一般事業債	3,495	2.96%
社債	5,997	5.08%
円貨建外国債	6,500	5.50%
計	118,120	100.00%

※円貨建外国債については、格付機関からAAAの格付を取得している国際機関、外国政府または政府保証債にあたる外国法人が発行するものを保有しています。

◎平成30年度の共済貯金は、支払利率を年1.68%で運営しました。

一方、資産*1の平均運用利回りは年1.54%(平成29年度は年1.69%)となり、有価証券*2のみで見ると年1.82%(平成29年度は年2.04%)という運用結果となりました。

*1 貸借対照表の借方、普通預金からその他までの合計額

*2 上記のうち「有価証券」の額